



2022年5月16日

各位

会社名 株式会社ヒガシマル
代表者 代表取締役社長 東 勤
(コード番号 2058)
問合せ先 管理部長 松久保 稔
(TEL 099-273-3859)

2022年3月期通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2021年5月14日に公表いたしました2022年3月期の通期業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績値の差異について

2022年3月期通期連結業績予想と実績値との差異(2021年4月1日~2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 12,579	百万円 429	百万円 468	百万円 264	円 銭 67.98
実績値(B)	11,286	205	360	3	0.81
増減額(B-A)	△1,293	△224	△108	△261	
増減率(%)	△10.2	△52.2	△23.0	△98.8	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	12,215	△34	76	274	70.64

2022年3月期通期個別業績予想と実績値との差異(2021年4月1日~2022年3月31日)

	売上高	経常利益	当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 8,065	百万円 433	百万円 281	円 銭 72.30
実績値(B)	6,578	213	92	23.68
増減額(B-A)	△1,487	△220	△189	
増減率(%)	△18.4	△50.8	△67.2	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	7,650	361	△325	△83.60

2. 業績予想と実績値との差異の理由

通期連結業績につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の状況が期初の予想よりも長引き、外食自粛による外食産業の低迷、及びインバウンド需要が消失している状況に加え、養魚用の天然稚魚の捕獲数の減少により、養殖業者の在池尾数の減少に繋がり、結果として、養殖業者向けの飼料販売量が落ち込み、売上を落としました。

また、魚介種苗子会社における減損損失等により、利益につきましても大きく予想を下回る結果となりました。

通期個別業績につきましても、主に養殖業者への販売量の減少等の影響があり、売上、利益ともに期初予想を下回ることになりました。

以上